

白子町ふるさと応援歌

歩く畦道に 響く笑い声  
薫る潮風が 僕らを包むよ

穏やかな 南白亀には  
しらこ桜の花びら舞う  
たおやかに 流れゆく  
ときの向こうには

遙かな海と空の色  
蒼い大地のその中で  
ほら 人が人を想い合い  
未来へつなぐ 大きな誇り  
ぬくもりを 胸に抱いて  
元気がこだまする この町で

じいちゃんとはあちゃんは  
今日も笑っている  
父ちゃんも母ちゃんも  
生き生きとしている

あの虹を 追いかけて  
大きな背中と駆けてゆく  
茜空 陽は落ちて  
うちに帰ろうか

作詞・作曲・編曲：光永亮太

手を伸ばせば 届きそうな  
星を眺めて 数えてる  
この心地よさは なんだろうな  
未来へつなぐ 小さな光  
しあわせを 胸に抱いて  
波の音が今日も 子守唄

セミの声と 昇る朝日  
朝靄かき分けて  
癒しの町 宝探し  
いつまでも いつまでも

遙かな海と空の色  
蒼い大地のその中で  
ほら 人が人を想い合い  
未来へつなぐ 大きな誇り  
ぬくもりを 胸に抱いて  
元気がこだまする 白子町